

脱炭素先行地域 進捗状況報告票

提案者名	那須塩原市
共同提案者名	那須野ヶ原みらい電力(株)、東京電力パワーグリッド(株)栃木北支社
対象年度	令和5年度

<総論>

1. 令和5年度における計画の変更箇所について
特になし

2. 今後の計画の変更可能性、今後の展開について
<ul style="list-style-type: none">・サッカー場への導入を予定している太陽光発電設備について、系統連系の関係により当初計画どおりの設備容量による導入が困難であることから、設備容量減の計画の変更を行う可能性あり・上記、減による不足分への追加設備の変更の可能性あり

3. 評価委員からの講評（選定時、年度フォローアップ）に対する対応状況

選定時

【講評】

既に一部の酪農家に対しては説明し、災害時の電力確保の必要性から事業への合意を得ており、残る酪農家への説明のメドもついていること、また、住民に対しては個別アンケートとワークショップを実施し、説明会を予定していること、さらに、事業所、飲食店には個別訪問・説明により理解を得ており、今後、詳細説明予定としていることから、需要家との合意形成は概ね期待できるところ、引き続き対応いただきたい。

【回答】

住民に対しては、地域内の全戸に事業内容の資料を配布し、地域住民等の事業への理解促進を図った。今後、説明会などを実施することによりさらに合意形成を図っていく。

【講評】

新設した地域新電力には、貴市が議決権を持てる比率まで出資しているほか、役員に貴市職員が参画しており、電力価格設定等において意見を反映できる点は評価。当初は公共施設を中心に、固定価格電源の調達量を超えない量を確実に電力供給して市場依存度を下げるとともに、大手電力会社と同程度の料金を設定するとの方針についても、着実に実施されることを期待。

【回答】

本市も出資し、設立した地域新電力会社において、令和5年1月から電力の買取を開始し、令和5年4月から公共施設への供給を開始する。事業の実施にあたっては、「公共施設を中心に、固定価格電源の調達量を超えない量を確実に電力供給して市場依存度を下げるとともに、大手電力会社と同程度の料金を設定するとの方針についても、着実に実施されることを期待」との意見を受けたが、供給開始にあたっては、公共施設のうち、発電量に基づき安定して供給できる施設を対象に、大手電力会社と同程度の料金にて供給を行えるよう準備を進めている。

年度FU時

【講評】

○サッカー場への太陽光発電設備導入の取組に関して、令和5・6年度に詳細設計を行い、令和6・7年度に設備導入を行う予定とされているが、導入の見通しについて、本年12月末までに本委員会に報告すること。

【回答】

○R5は、5月29日に設計業務委託を締結、本年度3月に完了する予定となっている。

○系統接続検討申込（2件、うち1件は重点加速化事業での整備予定）に対する回答を令和5年12月6・7日に受領。

○それぞれ負担金が約5億円、工期が2025年から45か月との回答となっており、共同提案者である東京電力パワーグリッド、那須野ヶ原みらい電力と定期的に打合せを行いながら、今後の事業方針について検討していく。

○来年度前半に、方針を決定することを目指す。

【講評】

○手挙げ方式にて導入先を決定することとされている、住宅、事業所、飲食店への太陽光発電設備導入の取組に関して、導入実績及び今後の見通しについて、本年12月末までに本委員会に報告すること。

【回答】

○令和5年9月8～10日の3日間4会場において、5つの自治会を対象に住民説明会を実施（うち1会場においては、2自治会合同）。

○現在、設置を検討している数件に意向確認を行っており、意向確認が取れ次第着工の見込み。

○今後は、周知により、本年度内で10件程度を導入予定。

○事業所については、約半分の事業所を訪問し、電力データ等の提供を受けて、試算を行っている。

○遅れを取り戻すため、チラシ作成によるポスティングの実施や導入実績をつくり、その効果を住民に示すなどの理解促進を図る。また、若い世代が集まる会議や地元のイベントや各種集まりなどを活用した周知を実施する。

○地域おこし協力隊を採用し、脱炭素先行地域に関する取り組みの周知等を実施する。

【講評】

○停電時のブラックスタート及び周波数維持のため、令和6年度に地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（以下「本交付金」という。）を活用し、サッカー場へVSG蓄電池を導入することとされているが、その時点で商用化され、導入実績があるものでない限り交付対象外となる。

VSG蓄電池の先行実績に関する見通しや、本交付金が適用できない場合の代替策について、本年12月末までに本委員会に報告すること。

【回答】

○導入機器は、ホームページにおいて、市場投入が公表されている。

○先行実績については、他自治体にて令和6年度上期ごろの導入見込みとの情報を得ている。

○本市においては、それをもって導入を進めていく予定。

○再エネ交付金の対象外となった場合に備え、資源エネルギー庁の補助金の活用が可能か執行団体と意見交換を実施している。

【講評】

○平常時・非常時におけるマイクログリッドの運用に関して、那須野ヶ原みらい電力株式会社と一般送配電事業者との役割分担を詳細に整理の上、本年12月末までに本委員会に報告すること。

【回答】

○基本的な役割分担については、フォローアップにおいて、回答したとおり。

○現在、手引きに基づき、運用マニュアルを作成中。作成にあたり、構築に必要な役割分担の項目を整理しており、それに基づき詳細な役割分担を行い、本年度中の運用マニュアルの完成を予定している。

【講評】

○道の駅のZEB化の取組に関して、道の駅の建て替えは令和5年度中の見込みとされていることから、本取組の進捗見通しについて、本年12月末までに本委員会に報告すること。

【回答】

○道の駅の改修工事については、5月下旬に契約を行い、現在工事が進められている。

○R6.3までに工事完了の見通し。

○設計段階では、BELS評価においてNearly ZEBとなっている。

【講評】

○酪農家への太陽光発電設備導入の取組に関して、PPAによる設備導入設計は当初令和4年度中の完了を予定していたが、構造計算の実施等も検討に加えることとしたため仕様の決定に時間を要し、完了予定が本年7月25日までに後ろ倒しされている。

設計結果の報告及び今後の設置見通しについて、速やかに本委員会に報告すること。

【回答】

○電力データを取得した施設において需要曲線などと突合し、17施設において設備容量等を算定（導入可能量666kW）。

○太陽光発電設備のみの場合、高圧・低圧の酪農施設ともに電気料金の削減が見込める。

○蓄電池も含めた場合、低圧の施設では、需要家の電気料金の削減について条件が厳しくなる場合もある。

4. その他特記事項

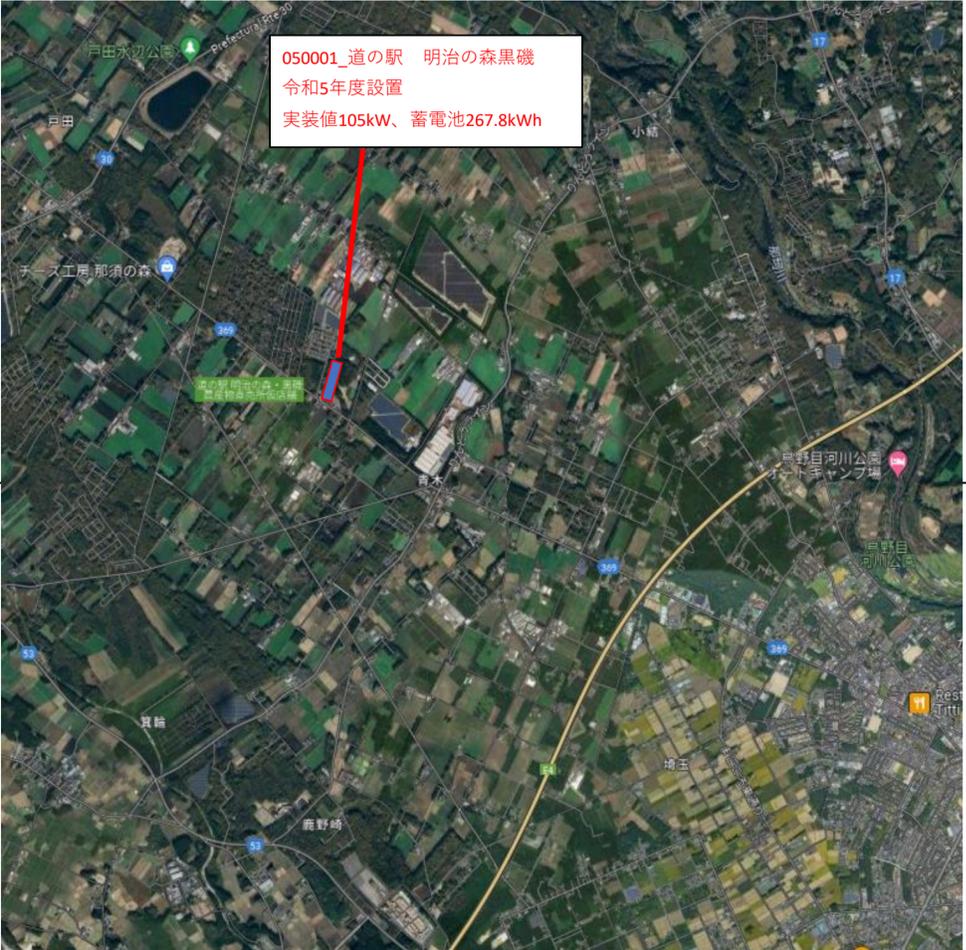
特になし

<対象年度の事業費の額（各取組）、活用を想定している資金>

取組No	取組内容	導入量・台数	令和5年度の事業費(千円)	令和5年度に活用予定の資金金額(千円)				事業費に関わる費用効率性(円/t-CO2)
				交付金	補助金	地方債	一般財源 その他(金融機関や民間事業者からの資金等)	
取組①-1	公共施設太陽光発電設備詳細設計		1,944	1,296			648	
取組①-1	道の駅太陽光発電設備導入	105 kW	100,088	66,725		17,900	15,463	148,030
取組④	蓄電池導入(道の駅、サッカー場)	267.8kWh	93,861	62,580		16,800	14,481	
取組④	エネルギーマネジメント詳細設計		8,784	5,856			2,928	

地方債の種類	金額(千円)
地域活性化事業債	34,700

<主なエリア図と進捗状況>

エリア図貼付欄	導入場所・導入設備記入欄
	<p>○0501_道の駅明治の森黒磯 令和5年度設置 太陽光発電設備 105kW 蓄電池267.8kWh</p>

【対象年度までの「実質ゼロ」の達成率】

$$\left(\frac{1,298,838.84}{84,500} (\%) + \frac{0}{0} (\%) \right) \div \frac{6,505,811}{6,505,811} (\text{kWh/年}) = 1 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)					省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳				合計			
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	730	3,527,725					0			
	その他							0			
民生・業務その他	オフィスビル							0			
	商業施設							0			
	宿泊施設							0			
	その他	20	2,230,989					0			
公共	公共施設	3	747,097	84,500				84,500	675		
	その他							0			
合計			(C) 6,505,811	84,500	0	0	0	(A) 84,500	(B) 0	675	

【対象年度における新規再エネ導入量 (kW)】

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
0	105								105

【電力需要家との合意形成の状況について】

■住宅

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	住宅	674戸	D	6月までに需要量の精査を行いつつ、事業への理解促進を図り、合意形成につなげる

■業務その他

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	酪農家	64軒	D	6月までに需要量の精査を行いつつ、事業への理解促進を図り、合意形成につなげる
2	事業所、飲食店	事業所21施設 (民生12施設)	D	6月までに需要量の精査を行いつつ、事業への理解促進を図り、合意形成につなげる

■公共

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	公共施設	3施設	D	系統連系を含めた検討の整理を行った上で、事業性を精査する

<民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの実現について>

【再エネに係るもの】

■取組①-1：公共施設への太陽光発電設備の導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	設計	設計・工事	工事・運用	運用						
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	100	290	1,700	0	0	0	0	0
	累計	0	100	390	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090	
状況	工程		設計	工事							
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0							
	累計	0	0								

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅明治の森黒磯の施設の屋根に太陽光発電設備105kW、蓄電池267.8kWhを導入 ・サッカー場への太陽光発電設備については、系統連系の申し込みを実施、接続に多くの費用と期間を要することから、内容の検討を実施 ・サッカー場への太陽光発電設備の詳細設計を行っていたが、上記により中断している
------------	---

■取組②-1：住宅への太陽光発電設備の導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	検討	順次設置				運用				
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	192	520	520	520	0	0	0	0
	累計	0	192	712	1,232	1,752	1,752	1,752	1,752	1,752	
状況	工程		検討	周知							
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0							
	累計	0	0								

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年9月に、地域内の全自治会（5自治会）を対象に住民向け説明会を4会場（1会場は2自治会合同）にて実施し、脱炭素先行地域における取組や各戸における太陽光発電設備について説明を行った。 ・地域内の全戸にチラシを配布し、事業の周知を行った。 ・4自治会の総会にて、事業の周知を行った。
------------	---

■取組②-2：事業所（民生部門）への太陽光発電設備の導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	検討	順次設置				運用				
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	345	346	346	346	0	0	0	0
	累計	0	345	691	1,037	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383	
状況	工程		検討	周知							
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0							
	累計	0	0								

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年8月に事業所のうち高圧受電の9事業所を訪問のうえ、電力データを取得し、シミュレーションを実施 ・全事業所にチラシを配布し、事業の周知を行った ・令和6年3月にまだ訪問をしていなかった事業者のうち、4件を訪問し、事業の周知を行った
------------	---

■取組②-3：飲食店への太陽光発電設備の導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
計画	工程	検討		順次設置			運用					
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	21	21	21	22	0	0	0	0	
	累計	0	0	21	42	63	85	0	0	0	0	
状況	工程	検討		周知								
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0								
	累計	0	0									

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の全飲食店にチラシを配布し、事業の周知を行った。 ・令和6年3月に飲食店のうち3件を訪問し、事業の周知を行った。
------------	---

■取組③：未利用資源を活用した再エネ電力の導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
計画	工程	検討			設計・工事		工事		運用			
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	0	0	1,169	1,990	0	200	0	0	
	累計	0	0	0	0	1,169	3,159	3,159	3,359	3,359	3,359	
状況	工程	検討										
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0								
	累計	0	0									

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電設備については、疏水を管理している土地改良区にも助言をいただきながら、事業の検討を行った。 ・バイオガス発電については、脱炭素まちづくりアドバイザーの制度を活用し、関係者のヒアリングなどを行った。
------------	---

■取組④：地域新電力による再エネの域内循環

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
計画	工程	設計	設計・工事			運用						
	目標値 (単位:設備)	単年度	0	2	5	5	1	0	0	0	0	
	累計	0	0	2	7	12	13	13	13	13	13	
状況	工程	設計	設計・工事									
	実績 (単位:設備)	単年度	0	2								
	累計	0	0	2								

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅明治の森黒磯に太陽光発電設備及び蓄電池を設置した ・サッカー場への太陽光発電設備や蓄電池、エネルギーマネジメントシステムの設計を行った
------------	--

【省エネに係るもの】

■取組①-2：改修を行う道の駅における外皮性能確保及び高効率機器の導入によるZEB化

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	設計	設計	運用							
	目標値 (単位:施設数)	単年度	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	累計	0	1	1	1	1	1	1	1	1	
状況	工程	設計	設計								
	実績 (単位:施設数)	単年度	0	1							
	累計	0	1								
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅明治の森黒磯の改修に合わせて、ZEB化に取り組み、BELSにおいて、Nearly ZEBの認定を受けている
------------	--

■取組①-3：小学校及びサッカー場におけるLED化の実施

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	設計	設計・施行	施行	運用						
	目標値 (単位:施設数)	単年度	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	累計	0	0	1	2	2	2	2	2	2	
状況	工程	設計	設計								
	実績 (単位:施設数)	単年度	0	0							
	累計	0	0								
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> 学校におけるLED化については、市内の小中学校全校において、リースによる改修を行っており、令和6年度中に完了する予定となっている。
------------	---

< 民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の取組 >

■取組②-4：酪農家への太陽光発電設備導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程										
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	415	2,046	2,046	2,046	0	0	0	0
		累計	0	415	2,461	4,507	6,553	6,553	6,553	6,553	6,553
状況	工程										
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月～7月にかけて、酪農家における太陽光発電設備導入の設計業務を実施した。図面等を作成のうえ、導入のための契約に向けた協議を行っている。 それ以外の酪農家においても、チラシの配布や訪問などにより合意形成を図っている。
------------	---

■取組②-5：民生以外の事業所への太陽光発電設備導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程										
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	242	243	242	242	0	0	0	0
		累計	0	242	485	727	969	969	969	969	969
状況	工程										
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年8月に事業所のうち高圧受電の9事業所を訪問のうえ、電力データを取得し、シミュレーションを実施 全事業所にチラシを配布し、事業の周知を行った 令和6年3月にまだ訪問をしていなかった事業者のうち、4件を訪問し、事業の周知を行った
------------	--

■取組⑤：脱炭素化による付加価値創出施策

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程										
	目標値 (単位:品)	単年度	0	0	0	1	1	1	0	0	0
		累計	0	0	0	1	2	3	3	3	3
状況	工程										
	実績 (単位:品)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> 酪農の担当部署と意見交換を行っている
------------	--

■取組⑥：自家用車・バス・タクシーのEV化促進

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	検討・実施									
	目標値 (単位:%)	単年度	0	5	5	10	10	10	10	0	0
		累計	0	5	10	20	30	40	50	50	50
状況	工程	検討・実施									
	実績 (単位:%)	単年度	0	3							
		累計	0	3							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

令和5年度の取組概況	<ul style="list-style-type: none"> ・市で行っているEV導入補助については、活発な利用がされている ・民間事業者との連携により、青木サッカー場にEV充電器2基を設置
------------	---

<共通KPI>

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	14,202,045	31,499,634	20,371,082	19,537,438	0	0	0	0
	累計	0	14,202,045	45,701,679	66,072,762	85,610,199	85,610,199	85,610,199	85,610,199	85,610,199
実績	単年度	0	0							
	累計	0	0							

<個別KPI>

■指標①：民生部門の需要家における自立電源設備導入割合

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度 導入割合%	0	10	27	27	27	0	0	0	0
	累計 導入割合%	0	10	37	65	92	92	92	92	92
実績	単年度 導入割合%	0	0							
	累計 導入割合%	0	0							

令和5年度の実績詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の実施やチラシの配布により、事業の周知を行った。 ・設置を希望する方について、調査を実施している
-------------------	---

■指標②：酪農家における自立電源設備導入割合

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度 導入割合%	0	6	31	31	32	0	0	0	0
	累計 導入割合%	0	6	37	68	100	100	100	100	100
実績	単年度 導入割合%	0	0							
	累計 導入割合%	0	0							

令和5年度の実績詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月～7月にかけて、酪農家における太陽光発電設備導入の設計業務を実施した。 ・図面等を作成のうえ、導入のための契約に向けた協議を行っている。 ・それ以外の酪農家においても、チラシの配布や訪問などにより合意形成を図っている。
-------------------	--

■指標③：一般廃棄物処分場跡地の太陽光を活用した再エネメニューの契約者の割合

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度 導入割合%	0	0	0	0	15	15	15	15	10
	累計 導入割合%	0	0	0	0	15	30	45	60	70
実績	単年度 導入割合%	0	0	0	0					
	累計 導入割合%	0	0	0	0					

令和5年度の実績詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の状況について確認を行った
-------------------	--

<事業実施体制>

事業	事業者名	調整・協議状況 (設立準備、一般送配電事業者との協議等)	今後の進め方、課題	投資回収年数(年)
PPA事業	那須野ヶ原みらい電力㈱	状況について、定期的に情報の共有を行っている	資金調達に苦慮している。設備リースによる事業実施も検討している。	
再エネ発電事業	今後、公募等により決定			
小売電気事業 (地域新電力)	那須野ヶ原みらい電力㈱	定期的に情報の共有を行っている	設備の導入を進めるなかで、供給単価の設定を行う	
送配電事業	東京電力パワーグリッド㈱栃木北支社	接続連系の申し込みを実施	接続に多くの費用と期間を要する。計画の見直しも必要	
都道府県	栃木県			

<進捗管理の実施体制>

進捗管理に係る会議体等の名称	取組内容	実施状況(会議開催頻度、主な意見、懸念事項等)
全体会議	関係者にて進捗状況等の共有を行っている	月1回の実施、詳細な検討を要すものは別途分科会にて検討
分科会	事業実施にあたり、関係事業者で詳細な検討・協議を行う	必要に応じて開催、関係者が重複しており、頻度が増える

<他地域への展開に関する取組>

対象地域は住宅、事業所だけでなく、大小さまざまな酪農家が多く含まれるエリアである。近年の災害の多発化や激甚化、電力価格や飼料価格の高騰による経営圧迫は、酪農に関わる地域全体に共通した課題である。

酪農地域におけるレジリエンスの強化及び地域経済の循環により事業継続性を向上させる本市の取組は、モデル性は高いと考えられる。

本市の取組は、酪農家の規模に関わらず展開が可能である。統計上、酪農が行われていることが確認できる生乳産出額が1,000万円以上である自治体は、全国に709存在することから、波及効果は大きいと考えられる。

その上で、脱炭素先行地域の取組について、栃木県と連携し広く県内外に発信するとともに、積極的に視察や自治体職員の研修を受け入れる予定である。

< 地方公共団体実行計画の策定又は改定状況 >

取組内容	改正温対法に基づく地方公共団体実行計画の策定又は改定状況等				
事務事業編	○	改定済(R4年3月)	改定中(○年○月策定予定)	改定予定なし	
	改定予定なしの理由:				
区域施策編	○	改定済(R4年3月)	改定中(○年○月策定予定)	改定予定なし	
	改定予定なしの理由:				
促進区域の設定		設定済(○年○月)	○	検討中(○年○月設定予定)	設定予定なし

【事務事業編】

計画期間	令和4年度から令和12年度
削減目標	2030年までに2013年度比で50%の温室効果ガス排出量の削減を行う
取組概要	太陽光発電設備の最大限導入、新築施設におけるZEB化、既存施設での省エネ改修

対象	目標値
温室効果ガス総排出量	2030年度 14,776t-CO2
太陽光発電設備を設置	
公共施設の省エネルギー対策の徹底	
公用車の電動車の導入	
LED照明の導入	
再エネ電力調達の推進	

【区域施策編】

計画期間	令和4年度から令和12年度
削減目標	中間目標：2030年までに2013年度比で50%の温室効果ガス排出量の削減 長期目標：2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ
取組概要	エネルギーの脱炭素化と省エネの推進、環境負荷の小さな交通への転換、持続可能な資源循環の取組推進、脱炭素型ライフスタイル・ワークスタイルへの転換と定着、脱炭素経営の促進、森林などの吸収源の確保

施策分類	目標値
再エネの導入促進	2030年までに太陽光57千kW、小水力0.28千kW
事業者・住民の省エネその他の排出抑制促進	2030年度の各部門の排出量 家庭92千tCO2、産業112千tCO2、運輸174千tCO2

【改正温対法に基づく促進区域の設定方針】

・促進区域の設定に向け、ゾーニングの調査を実施

<今年度実績に係る写真>

導入設備等写真貼付欄	設備名、設置場所等記入欄
	0501_道の駅明治の森黒磯にPV（105kW）導入
	0501_道の駅明治の森黒磯に蓄電池（267kWh）導入